

## 会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第4回 民間活力をいかした高松市中央公園再整備検討委員会
開催日時	令和6年4月10日(水) 10時00分～11時10分
開催場所	高松市防災合同庁舎 3階 301会議室
議 題	1. 第3回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について 2. 中央公園再整備基本設計(案)について 3. その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	西成委員長、野沢委員、長井委員、片山委員、直嶋委員、多田委員、土居委員、奥村委員、濱崎委員、野崎委員、神余委員
傍 聴 者	12人 (定員20人)
担当課及び 連絡先	公園緑地課計画係 087-839-2494

### 会議の経過及び結果

第4回委員会を開会し、次の議題について協議及び意見聴取し、下記の結果となった。

(1) 第3回委員会の振り返り及び市民等から寄せられた御意見について  
資料1について、事務局より説明を行った。

(2) 中央公園再整備基本設計(案)について  
資料2 中央公園再整備基本設計(案)について、事務局より説明し、各委員より次のとおり意見があった。

(神余委員)

- ・工事期間中は公園を利用することができるのか。

(事務局)

- ・利用者の安全を第一に考えております、利用可能なエリアは開放したいと考えているが、安全上閉じなければならない可能性もある。具体的な工事順序を検討しながら決定していきたい。

(濱崎委員)

- ・現状の給排水管渠は老朽化や樹木の根との干渉によって、配管のつまりが見られる。トイレの新設を計画しているが、上下水の管渠の計画についてどのように考えているか。

(事務局)

- ・給排水管渠についても、トイレと併せて更新する。整備計画で、高さや必要水量が異なるため実施設計内で詳細について検討する。

(野沢委員)

- ・見通しの改善、夜間ライトアップ、トイレの新設等によって、人が集まる場となることが期待できる。イルミネーションは、菊池寛通り、中央通りと一体に検討されると、商店街からの人の流れを誘導できると考える。
- ・商店街では空き地が点在していることが課題である。ポケットパークとしての活用など、市での検討も併せて検討いただきたい。

(事務局)

- ・夜間照明の演出について、各事業主体と一体的に検討を進めたい。都市計画課において、夜間景観ガイドラインを策定予定であり、庁内の関係部署と連携し検討を進めたい。

(西成委員長)

- ・中央公園とまちの繋がりを創出するためには、民間と公共で一体に考えることで、次のステップに進むことができる。

(直寫委員)

- ・建物の耐震対策について、どのように考えているか。また、避難場所としての機能についても検討されているか。

(事務局)

- ・新設する建築物の耐震性能については、現行の建築基準法に基づき設計を進める。再整備後も残る既存施設についても、耐震対応を進めたい。  
現在中央公園は、指定緊急避難場所に指定されており、災害直後、一時的に避難者を誘導する場所となっている。

(西成委員長)

- ・香川県は、南海トラフ発災時の被害が四国内で比較的少ないと予想されており、中央公園は県内だけでなく四国全域の防災拠点となる可能性がある。  
災害時に利用する水資源について、地下水、トイレの防災利用を強化する必要がある。

(野崎委員)

- ・基本設計案のわんぱくひろばのような、人研ぎ滑り台のある子どもの遊び場は、南池袋公園でも事例がある。夜間スケートボードに利用されるのでは。安

全対策を含めどのように考えているか。

(事務局)

- ・スケートボード、ボール遊びも小さい子どもにとっては、危険と考えられる。たくさんの方が遊べるルールづくりを再整備に合わせ組織化し、管理運営体制を強化したい。

(西成委員長)

- ・南東部に整備予定のバスケットコートについても、同様に検討が必要である。特に、周囲が植栽で囲われているため、防犯上の観点からも見通しが必要となる。そのため、樹木伐採については、本数ありきではなく、その場に応じた合理的判断をしていくことが望ましい。

(長井委員)

- ・民間による管理運営について、どのように収益化を図ることを検討しているか。

(事務局)

- ・持続可能な管理運営方針を検討したい。指定管理者制度を検討する場合も、民間事業者が魅力を出せる仕組みづくりを行いたい。

(片山委員)

- ・基本設計段階では、多くの関係機関に聞き取りを行っていたが、再整備検討段階だけでなく、再整備後も定期的に多様な立場の市民に意見を聞くべきである。
- ・樹木医調査についても、定期的に調査・診断し改善できる体制づくりを検討していただきたい。

(神余委員)

- ・カフェ周辺に木陰のスペースが少なく感じた。アイパル香川前の石庭を一体に有効利用できるとよいのではないか。
- ・中央公園が野球場であったことの価値は高いが、芝生広場内の掲揚ポールについては再整備ではどのように検討するか。

(事務局)

- ・事業者の(株)ルーヴと協議し、店舗周辺に日陰スペースを確保する。アイパル香川との連携も計画している。
- ・掲揚ポールは老朽化しているため、安全性の面から撤去を検討している。

(土居委員)

- ・現在は、外国人の交流の場となっており、公園との一体的な利用はされていない。公園利用者も立ち寄って、国際交流への理解を深める場となればよいと考える。雨の日や、夏場にカフェ利用者の飲食スペースとすることも検討できればよい。

(奥村委員)

- ・照明計画について、ソーラー照明も整備予定とあるが、全体では消費電力が増えるのではないか。環境への配慮について、どのように考えているか。

(事務局)

- ・最近の照明製品の消費電力は、従来製品より少ない。太陽光や、蓄光発電などエネルギー効率の良い製品を採用していきたい。

(多田委員)

- ・防犯対策についてどのように検討しているか。
- ・ベンチが少なく感じ、県内産木材を活用した休憩施設の整備も効果的であると考える。

(事務局)

- ・防犯対策について、サインやデジタル技術を活用した整備も検討したい。
- ・ベンチについては、伐採した樹木を活用するなどして整備を行いたい。

(西成委員長)

- ・庁内のコンペティションにより、新設するトイレのデザインが決定された。計画・設計を進める上で、男女のアプローチが重なることや、手洗い場の配置等今後の検討課題となる。ルーヴ、アイパル香川の建築デザインと連携を図りながら整備することが必要である。

(野崎委員)

- ・建築デザインについても今後更なる検討を行う。デッキ部分はバリアフリーの観点から利用者が使いやすいような整備を行いたい。
- ・店舗としては、スイーツ・ベーカリー・カフェ3つの飲食機能の充足を図る予定である。

(神余委員)

- ・中央公園のサクラの減少がうかがえた。サクラやツバキなどの季節や地域性を感じられる植栽デザインを検討してほしい。

(事務局)

- ・高松らしさを視野に入れた植栽の整備を検討したい。

今回示された計画（案）を進めることを確認し、会議を終了した。

### 3. その他

- ・4月22日よりパブリックコメントを実施したのち、基本設計策定としたい。
- ・基本設計の方針をベースに実施設計を行い、令和7年秋より工事に着手し、令和9年夏のリニューアルオープンを目指します。
- ・実施設計においても、委員の皆様引き続き協議させていただきたい。 以上